

森の息吹

第7号



公益社団法人岐阜県森林公社

【URL】 <http://www.gifu-shinrin.or.jp/>

✉ info@gifu-shinrin.or.jp

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛1612-2

岐阜県中濃総合庁舎内

☎ 0575-33-4011 (内線420、421)

FAX 0575-46-8409

本誌「森の息吹」は、岐阜県森林公社（以下、「森林公社」）及び木曾三川水源造成公社（以下、「三川公社」）が実施している分収造林事業等について、分収造林契約者の皆様にお知らせするために共同で発行しています。

『平成28年度事業の取り組み報告』

森林公社が経営管理する約14,000haの分収造林地は、その9割以上が16年生から50年生で、間伐を主体とした保育が必要な森林です。しかしながら、年々保育・管理費用が上昇する一方、木材価格は長く低迷していることから、今後の分収造林事業の継続を図るため、当公社として経営の改善に鋭意取り組んでいるところです。

皆様方には、契約期間の延長や、分収割合の契約変更についてご理解とご協力を賜っているところであり、感謝申し上げます。

近年、樹木の成長に伴い間伐材を搬出して利用（利用間伐）が可能な分収造林地も増えています。平成28年度は、利用間伐を171ha実施し、4,852m³の間伐材を販売することにより、1,159万円を分収交付（交付手続中含む）することができました。また、清流の国ぎふ森林環境税を活用した除伐や間伐を280ha、これらの施業を行うための作業路の開設6,498m、補修4,168mを実施するなど森林整備につとめました。これらにより、森林の多面的機能を高め、住みよい環境づくりに努めました。

岐阜県内の林業担い手の確保対策については、山で働く技術者の方々の技術向上や就業者の確保のため、関係機関と連携し各種研修を開催しました。88名が参加し、延べ114日間の各種研修を受講していただきました。

【森林公社 伴野義久】



（作業路開設の様子）



（間伐材搬出の様子）

未利用木材の活用～木材のエネルギー利用～



販売



燃料



発電



枝・葉、曲がり材、小径木など

木材チップ

木質バイオマス発電施設

環境に優しい生活

木材は、暮らしに欠かせない生活エネルギーとして木炭や薪の形態で多用されていた時代もありましたが、近年では、木材チップや木質ペレットが再生可能エネルギーの一つとして注目されています。

このため、公社では、森林内の立木から丸太を生産する作業で発生する間伐材や枝・葉等（＝未利用木材という。）を木質バイオマス発電の燃料用に使用するなど木材の有効利用を図るため、現地で買い取りしていただける事業者を募集する取り組みを始めました。

*木質バイオマスとは

「バイオマス」とは、生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、「再生可能な生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のことを呼びます。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。

説明：林野庁ウェブサイトより

【森林公社 坂本 仁】

航空写真を活用してあなたの山を探してみませんか



最近では、インターネットの普及により、パソコンやスマートフォンで地図を見ることが多くなったと思います。

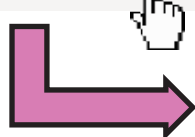
私たち公社職員も山の状況をインターネットの航空写真から読み取ることもあります。通常の地図からでは分からなかったことも、航空写真なら分ったりするので、とても便利です。

その一例を紹介します。

① インターネット検索サイトから



(例) Googleマップ



② 見たい所の住所を入力



③ 検索した住所と付近の地図or航空写真が表示されます。

④ 山の地番を検索しても標示されない場合が多いので、マウスをドラッグし見たい所を探します。

【森林公社 中川 智】

分収造林変更契約のお願い



平成28年度から公社では、分収造林契約の契約期間延長に加え、分収割合の変更をお願いしています。

昨年10月から始めた地区説明会の開催やご自宅への訪問説明などにより、今年の8月末現在で、ご契約者のうち約5割の皆様から変更への同意をいただくことができました。ご理解いただいた皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

今後も引き続き、ご契約者全員からのご同意をいただけるよう説明会の開催を計画します。また、ご希望される方については個別にご説明させていただきます。

分収割合変更に関するこれまでの状況

平成28年度説明会開催実績	19会場	参加者	238名
平成29年8月末同意書提出者数	1,291名	52%	(全契約者数2,481名)

契約期間延長に関するこれまでの状況

平成29年8月末契約変更締結者数	1,869名	75%	(全契約者数2,481名)
------------------	--------	-----	---------------

平成29年度説明会の開催実績及び計画

本巣市本巣	8月19日	白川町	9月 3日	飛騨市神岡町	10月12日
本巣市根尾	8月19日	東白川村	9月 3日	飛騨市宮川町	10月15日
郡上市八幡町	8月27日	下呂市萩原	9月 7日	飛騨市古川町	10月15日
郡上市大和町	8月27日	美濃市	9月13日	白川村	11月18日
郡上市和良町	8月27日	大垣市上石津	10月 1日	高山市荘川町	11月18日
高山市朝日町	9月 2日	揖斐川町	10月 1日	高山市清見町	11月19日
		山県市	10月 4日	高山市	11月19日

各会場ごとで、その地区に分収造林契約地を所有されている契約者様に、説明会開催のご案内をさせていただきます。ご案内が届きましたら、日程を調整のうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

皆様からお預かりしている土地を継続して管理することで、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させつつ森林資源を循環利用し、林業、木材産業を活性化させることができます。

森林公社は、これらの目的が達成できるよう、今後も経営改善をより積極的に進めてまいります。

契約者の皆様には、森林の管理に関する費用や公社運営に関する負担は一切ございません。

森林、林業を取り巻く社会情勢が長期低迷していることなど、ご理解頂きご協力くださるようお願い申し上げます。



まだ期間延長又は分収割合の変更についての手続きがお済みでない方に対し、順次、森林公社からご連絡させていただきますが、ご不明な点については森林管理課までご連絡くだされば対応させていただきます。

【森林公社 内木泰彦】

森の住人（コラム）



ある夏の日のこと。私は造林地調査と契約地の境界を確認するため、池田山にある分収造林地へ単身で向かった。造林地まで伸びた作業道に車を止め徒歩で林内へ。300m程進むと造林地の境界杭があり、ちょうど広葉樹林との境にもなっていた。図面で境界杭を確認しながら進んでいると、不意に「カサカサ」と物音が！単身で山に入っているし、もしクマだったらどうしよう。クマ注意なんて看板もあったし……。などと考えながらも、怖いもの見たさで物音がする方へそろりそろりと進む。いた！！狸？……。にしては体毛の配色や顔つきが違う。ずんぐりした体形で体長は50cm程か。私には気が付いていないようだ。何て動物か分からず帰宅後インターネットで調べようと思い、息を殺して観察していると、その動物の前には巣穴があり、私に気づくことなく巣穴に入ってしまった。

帰宅後に調べてみると、その動物はニホンアナグマであったことが分かった。

ニホンアナグマは本州、四国、九州地域の里山に棲息している。体長は40～50cm。体重は4～12kg。ミミズやコガネムシの幼虫を好み土を掘りだして食べる。また、外敵に襲われそうになると擬死するユニークな習性を持っているようだ。

池田山では毎年春に、「広葉樹（実のなる木）の植樹事業」が開かれ、地元の中学生、高校生、町内生産森林組合のほか、行政機関、林業事業体、森林公社が参加し、植栽活動をしている。この事業の目的は、森林の再生、山地災害の防止と動物が山の餌に困らないようにという願いが込められたものだ。

私が出会ったニホンアナグマをはじめとする森の住人が棲家や餌に困らないよう、私たちは森林を大切にしていきたい。

【森林公社 松尾好治】



ニホンアナグマ



「広葉樹の植樹事業」の様子。無事に育ち、たくさん実がなる様、願いを込めた。



白山白川郷ホワイトロードの新たな魅力紹介 ～三方岩トレッキング～



世界文化遺産合掌造りの白川郷と石川県加賀温泉郷を結ぶ山岳道路に「白山白川郷ホワイトロード」があります。

この道路は白山国立公園を東西に横断する有料道路で全長33.3km、標高485～1,450mの高低差約1,000mを走行することができ、季節の変化とともに移り行く大自然が堪能できます。

ホワイトロードは、近年まで利用する多くの方が車窓からの大自然を楽しんできましたが、最近はこの大自然を直接肌で感じるためのスポットとして注目されるようになってきました。

今回は、その中でも三方岩岳へのトレッキングについてご紹介します。子供から年配者まで人気があるのが、三方岩駐車場からのルートです。北アルプスの山々を望みながら、約50分で山頂に到着でき、頂上からは、360°絶景のパノラマを楽しむことができます。

今年は、「開通40周年」に加えて「白山開山1300年」の記念の年です。「あなたに贈る大自然と音楽」等イベントの開催予定もありますので、大自然を求めドライブにお出かけください。お待ちしております。

雲海の発生しやすい9月下旬からの1ヶ月間（今年は9/23～10/22）はゲートの開門時間を1時間早め、モーニングタイムを実施します。詳細は、同封したチラシを参照ください。

【森林公社 知手裕一】



秋の雲海



夏のサライズ トレッキング



春の三方岩岳